

令和5年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 国分中央高等学校

1 目的

農業への興味・関心を高め、農業を進路の一つとして捉えられるように、専門的な学習から社会人としての能力や態度を育成することを目的とする。

2 実施状況

(1) 農業大学校視察研修

1年生27名が農業大学校の視察研修に参加した。本校卒業生による説明を受け、将来の進路として考える機会となった。



農大1日体験学習

(2) 視察研修

1年生27名がセイカ食品を視察した。食品会社の食品安全規格の学びを深めることができた。植物バイオ班3年生13名が、鹿児島大学農学部を視察した。農学部の構成、研究室や圃場の説明を受けた。生徒が科目「課題研究」で取り組む伝統野菜の継承やサツマイモ基腐れ病に関する情報を得る機会となった。



先進農業を視察

(3) HACCPシステムトレーニング研修

国際水準食品安全規格ではHACCPの考え方が必要であるため、2年生37名を対象にCODEXHACCPトレーニングコースを受講した。



HACCPトレーニングコース講習

(4) 収穫祭

農業クラブ役員を中心に公衆衛生を踏まえ、主体的に考え取り組むことができた。また、利用している農場の清掃や道具の整理整頓、農業生産物に視点をあて、日頃の日常に感謝する機会となった。

3 今後の課題

専門知識や経営感覚を学び、農業経営者や農業関連従事者を目指す意識を高めることができたと感じる。今年度の卒業生の進路を見ると鹿児島大学農学部に進学する生徒1名、あいら農業協同組合に就職する生徒1名であった。1,2年生の中には、農業大学校や農業関連産業に興味や関心を示している生徒もいるため、継続した働きかけをとおして農業の「経営者、従事者、理解者」の育成に取り組んでいきたい。



収穫祭